



福祉団体やボランティアグループの皆さんの活動を応援します！

令和2年度 共同募金助成事業のお知らせ

令和元年度共同募金を財源に、地域から孤立をなくし、みんなが社会の一員として包み支えあうしくみづくりを推進するため、地域課題の解決など地域福祉活動に取り組む福祉団体やボランティアグループ等を支援することを目的に、曾於市共同募金委員会が事業費の助成を行います。

助成対象団体は？

曾於市内で活動する社会福祉法人、特定非営利活動法人、校区社会福祉協議会（以下、校区社協）や自治会等の地域団体、福祉団体及びボランティア団体です。

助成の対象となる事業・経費は？

令和2年度中に実施される次の事業で、事業を実施するにあたり直接必要となる経費（団体の管理、運営費は対象外）です。

- ① 社会福祉法人、特定非営利活動法人が行う地域福祉推進事業
- ② 校区社協や自治会等が行う小地域での福祉推進のための活動
- ③ 地域福祉推進を目的とした福祉団体やボランティア団体等の活動

ただし、報告期日を厳守することを条件とします。【報告書提出期限 令和3年3月19日(金)】

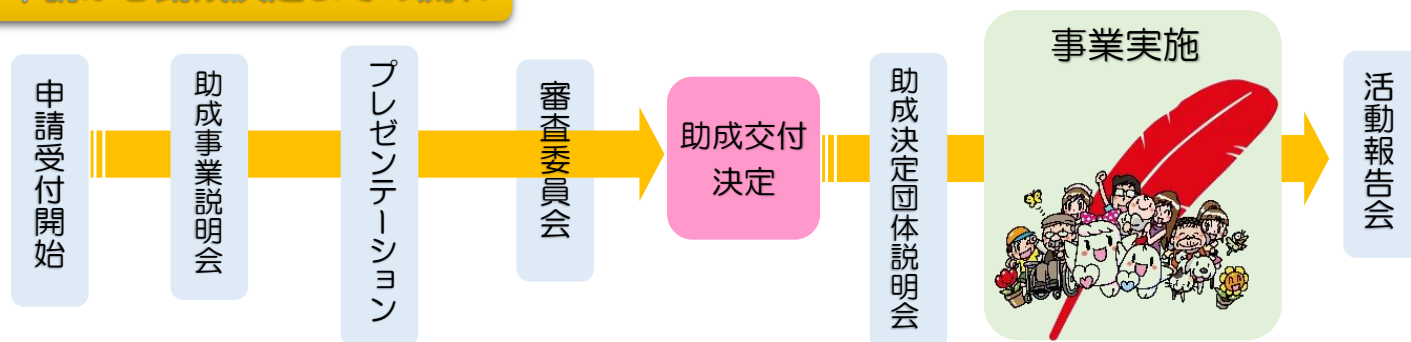
申請期間は？

令和元年10月1日（火）から令和2年2月7日（金）まで

下記の窓口にて申請書を受け取り、必要な書類を添えて申請ください。

曾於市共同募金委員会 ・財部分室…財部保健福祉センター内 ・末吉分室…そお生きいき健康センター内
(曾於市社協本所、支所) ・大隅分室…大隅弥五郎伝説の里健康ふれあい館内

申請から助成決定までの流れ



助成事業説明会の開催について

助成事業についての説明を行います。ご不明な点等についてご質問ください。

開催日時：令和元年11月17日（日）
午前10時から
開催場所：そお生きいき健康センター
曾於市末吉町二之方 2342 番地 2
TEL 0986-76-2224
FAX 0986-76-2475

プレゼンテーションの実施について

助成を決定するにあたり、プレゼンテーションを行います。申請団体から事業目的や内容、申請書に書ききれなかった思い等についての発表、審査委員からの質疑に答えていただきます。

開催予定日：令和2年3月2日（月）
開催場所：そお生きいき健康センター
※ 申請団体に対し、改めてご案内いたします。

【助成事業に関するお問い合わせ】

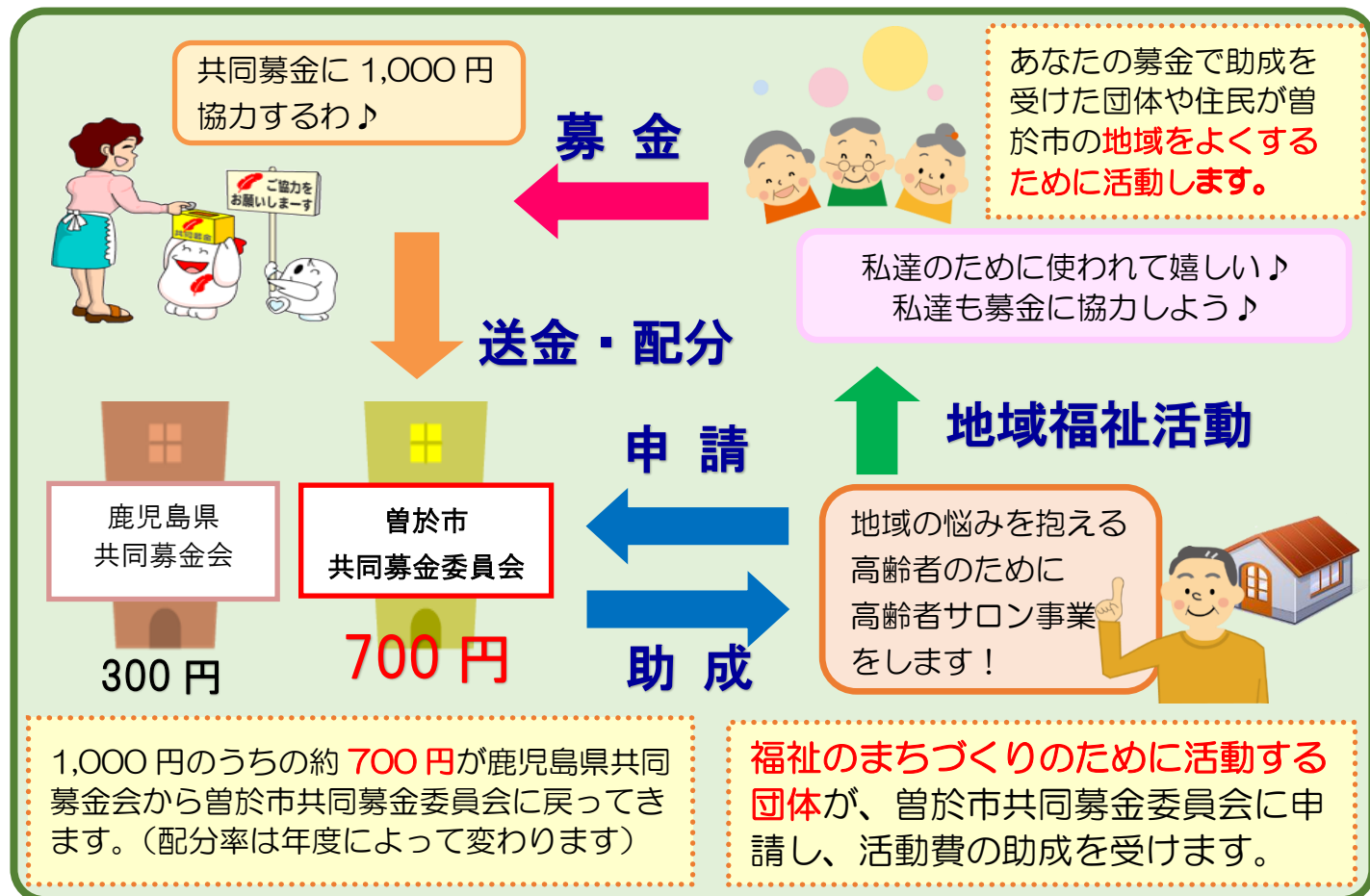
曾於市共同募金委員会（曾於市社会福祉協議会） 担当：藤田
〒899-4101 曾於市財部町南俣 504 番地 1（TEL 0986-72-0460・0480 FAX 0986-72-0425）

共同募金委員会だより 第11号

【令和元年10月1日】
発行：曾於市共同募金委員会



共同募金は、赤い羽根をシンボルに、「赤い羽根共同募金」として、地域の方々に親しまれており、毎年10月1日から翌年3月31日の期間、全国で募金運動が行われます。（1月から3月の期間は、「特定テーマ型募金活動期間」です。例年実施される一般募金運動は、従来どおり10月1日から12月31日の期間となります。）皆さんから寄せられる募金は、地域から孤立をなくし、みんなが社会の一員として包み支えあうしくみづくりのために、様々な活動の貴重な財源として使われます。



共同募金に関するQ&A

Q なぜ、共同募金が必要なの？

A 行政では、私たちの税金で公平に効率的に福祉施策を行っています。ところが、社会福祉の現場では、日々その対象者が変わり、できるだけ早く実情に即した活動が必要となります。そうした場合に臨機応変に動けるのが「民間」です。民間のよさは、その特質である迅速性、柔軟性、先駆性、開拓性です。そのための財源として共同募金は欠かすことができないものです。

Q 善意の募金なのに、なぜ寄付額を割り当ててるのですか？

A 寄付いただく目安として「目安額」をお示ししています。共同募金は、決して寄付額を割り当てる募金ではありません。事前に配分計画を立て、その計画に基づいて目標額を定めていますが、これはあくまで共同募金委員会が立てた計画であり、住民の皆様がご寄付いただくにあたっては、任意でご協力いただければ結構です。どれくらい協力したらいいのかわからない場合の「目安」としてお考えください。

本年度も10月1日から共同募金運動が始まります！
皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします

平成30年度 赤い羽根共同募金助成活動

平成29年度に皆さんから寄せられた赤い羽根共同募金を財源に、8団体が助成金を受け、年間を通してさまざまな地域福祉活動に取り組みました。

柳迫地域福祉拠点施設 みなくろかん 皆来館

- ふれ愛お食事会
- ふれ愛カフェ。オレンジカフェ
- 手作り教室
- ふれ愛子育てサロン
- 児童クラブふれ愛事業
- 皆来館総合相談事業

【ありがとうのメッセージ】

市民の皆さまの心のこもった温かいご支援によって、私たち皆来館は共同募金より助成を受けることができ、活動することができました。ご協力に心より感謝いたします。これからも地域の皆さまの支えになれるような活動を行っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



ミニデイななつ星、にこにこデイ、でこん川、あさひ会 ※ミニデイは4つの団体がそれぞれ助成を受けて活動しました。

○ミニデイ事業



【ありがとうのメッセージ】

共同募金の助成を受けて、ミニデイの活動をさせていただきました。体操やレクリエーションを通して介護予防につながり、参加者同士のつながりも深まりました。共同募金にご協力いただいた皆様方の温かい心に感謝します。ありがとうございました。



大隅地区民生委員児童委員協議会

- 地域とのつながりを深めるために
(情報紙発行事業)
- 贈呈事業

【ありがとうのメッセージ】

多くの方々から寄せられる共同募金の一部を、民生委員・児童委員の活動紹介をはじめ、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを目指した情報紙発行や高齢者宅への訪問、贈呈事業に活用させていただきましたことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



ボランティア七村

- 元気生き活き推進事業
(年越しそば会)(グラウンドゴルフ大会)
- 環境整備



【ありがとうのメッセージ】

地域内の少子高齢化により、住民の行事への参加が少なくなってきましたが、この助成事業の実施により、特に高齢者や一人暮らしの方も参加していただきました。募金活動への理解と意識が高まり、募金活動への協力も行うことができました。

曾於市社会福祉協議会

- ささえあいネットワーク事業
- 子育て支援事業
- 障がい者支援事業
- 住民参加型福祉サービス事業
(ほっとサービス事業)
- 福祉教育及びボランティア活動推進事業
- ふれあい・いきいきサロン事業
- ボランティアバス運行事業

【ありがとうのメッセージ】

事業を実施する中で、財源が共同募金であることを資料に入れたり、口頭で説明したりし、周知に努めました。その結果、共同募金が身近なところで使われていることを広く知っていただけました。自分たちの募金が地域福祉のために使われている、そうした実感を伴う機会をつくることで、見えにくいといわれてきた福祉活動への理解につながったように感じます。事業所・団体等を含む募金にご協力いただいた皆様、自らの尊い意思で募金活動に参加していただいた皆様に衷心から御礼申し上げます。

